



第 2975 例会 No17

2015 年 11 月 17 日

◆例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 会長の時間
4. ゲストスピーチ
5. 幹事および委員会報告
6. 出席報告
7. ニコニコボックス
8. 閉会点鐘

◆幹事報告

・なし

◆第 2974 (11/10) 例会の概要

■会長の時間 佐々木 史昭君

会長の時間「創立 50 周年記念祝賀会」



みなさん、こんにちは。

本日は少々参加者が少ないように思いますが、逆にそのようなときこそ、和気藹々と楽しくロータリー例会を行いましょう。

例会に先立ち11月度理事会が開催され、大きく3点確認されておりますので報告致します。一点はニコニコボックス収入が4ヶ月で368,000円と、ベンベルと南部美人への職業奉仕支援金32本分96,000円が含まれてはおりますが、収入計画90万円に対し順調に推移しております。また、吉田和洋会長エレクトより会員増強状況についてご報告頂き、弁護士の前田毅さんより11/5付で入会申込書を頂戴し、会員選考委員長高橋豊さんより了承のご連絡を頂戴し、12月理事会で正式承認を

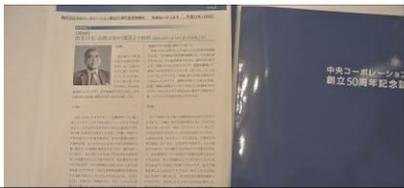
頂く段取りとなっております。さらに、株式会社東洋技研の菊池倫実(ともみ)さんも有力で、居酒屋早池峰の金子哲人さんも前向きに検討頂いているということで、吉田エレクトのご尽力で増強活動も着々と進みつつあります。そして、12/22(火)のクリスマス例会について、年当初の方針に沿って、花巻北高の奨学生や在原校長、英語教諭の細川先生、柏山先生、ベン・ベル、ウンドナさん、カウンセラーの花巻北RC菅原利直氏、るんぴにい美術館の理事長、スタッフ、クラブHPの立ち上げに功大きい共立精工のご担当者様などなど、会員のご家族に加え、お世話になっているみなさまをロータリーファミリーとしてお誘いして一緒に生バンドによるクリスマスソングを楽しみ、クリスマスプレゼントをたくさん抱えて帰って頂けるよう、親睦委員会さんにご期待したいところで

す。
さて、11月3日火曜日文化の日には、私事で恐縮ですが、弊社株式会社中央コーポレーションが創立50周年を向かえ、グランシェール花巻にて記念祝賀会を開催させて頂きました。

弊社の創業者、私の祖父高橋吉助は昭和26年に中央製作所を創業、昭和40年に株式会社化し、以来50年が経過致しました。それ以前は、昭和15年に兄の幸助を支え、取締役製造部長として有限会社花巻鉄工所を設立し、農業機械等の製造販売を行い、多いときは従業員150名を超えたこともあったようですが、終戦の混乱に耐えきれず昭和24年に事業閉鎖を経験しております。高橋吉助の父高橋常吉は、明治、大正、昭和13年まで高常組製作所と称し水車大工を営んでいたそうですし、高橋常吉の父は花巻城の御用大工であったそうです。昭和58年に高橋吉助が花巻鉄工会で講演したテープが出てきたことで、弊社の歴史を振り返ることができ、創立50周年記念誌として発刊できたことは、当社にとって大変うれしいことになりました。本日は3冊回覧用にお持ちしましたし、事務局に1部預けておきますので、

どうぞ笑覧頂ければ幸いです。

今日は、慶弔スピーチの方の出席が少ないので、会長の時間で少々時間を取って、弊社創業者高橋吉助の講演より少々当社の歴史を紹介させて頂きたいと思っております。それでは、高橋吉助の肉声を10分ほどお聴き下さい。



左:中央コーポレーション 50周年記念誌
右:創業社長高橋吉助



(以下講演テープ)

創業社長高橋吉助の講演より抜粋
(昭和58年1月23日於花巻鉄工会)

(前略)

私のおじいさんは大沢で生まれております。12、3歳のころだと思っておりますが、大工になろうと思って大工奉公をしたわけですが、その先は鬼柳だったそうです。まず花巻からそこへ行く、それは相当有力な偉い師匠さんだったろうと思っております。

(中略)

合計13年いたそうです。一生懸命やっただけに違いないのですが、これであればどこへいっても引けを取らない、大丈夫だからまずやってみろと返されてきた。その時30歳位だと推定しますが、(中略)花巻のどこかで独立して仕事を始めた。かなり急速に認められ数年の後、はっきりわかりませんが花巻のお城、御用大工の棟梁に選ばれたそうです。腕が良かったと思うし、前に居た人が年取って死んだとか何かがあって推薦されたようですが、私の親父から聞いたのは年俸、その当時武士と同じように100人扶持を貰ったそうです。100人扶持を全部自分で使うわけではありません。大工さんたちはもちろん、左官さんとか、石屋さん、屋根屋さん、そういったものに関連のある職人を100人くらいいつでも声を掛けたらすぐに集まる体制を作っておかなければならない責任がある。だから仕事をさせなくてもある程度の手当てをくれて、お城のご用のあるときはすぐ来てください、何を取りおいても行きます、という状態にして自分はやっとならなければお城のご用は務まらないわけだから、そういう体制を整えていたそうでありました。明治5年の廃藩までその状態で務めていました。

明治5年には皆さんご存知のように花巻は南部藩の出先、当然盛岡の南部藩も朝敵になったために役にも付かないでお城は解体させられ、現在もありませんが、

花巻でもそれと同じになって、建物を解体して、解体した木材を町の人たちに柱一本いくら、として払い下げをしたそうです。お城に使うような立派なものではなかったそうです。建物は全部で、小屋とか倉庫、武器、弾薬の倉庫とかいろいろあって14棟あったそうです。本丸ともいべきものは2階作りで頑丈な小屋、といったような造りであったようです。

(中略)

そして明治5年に私の父親常吉が生まれたわけでありました。(中略)私の兄貴は皆さんもいくらかご存知かと思いますが、幸助(こうすけ)といいまして、その次は直助(なおすけ)、その次は良助(りょうすけ)、4番目の吉助(きちすけ)、その次は女、6番目で五男の泰助(たいすけ)が生まれております。この子供を育てるのに一回の職人ではだめだという親父の考えで、何か副業ということを考えて花巻の石神に自分の手で出来る、その当時動力といえば水車でしたから水車小屋を作って副収入を図ったわけです。私が学校を卒業したのは大正7年ですが、私が1年生の時に向う(石神)へ移りました。その時はまだ電気は無かったのですが、まもなく大正5年に電気が出来まして、動力は電気になって、水車じゃなくても米もつけるし製材もできる。その当時の精米機は杵ですが、丸鋸を引っかけた製材を行う、たいした評判で最も新しいやり方でした。

(中略)

私の母親は台におりました。おじいさんの弟子で佐々木しんぞうというものが居て、その人の3番目の長女を(父の常吉は)嫁にもらいました。弟子の娘を自分の次男にもらった。その佐々木しんぞうという人は、人柄も良く非常に腕の良い人で明治14年に明治天皇が東北巡行の際の行在所を建てました。(中略)総檜でとても吟味した建物だったそうですが、大きさは証拠がなくてわかっておりません。それが明治22年の火災で焼けてしまいました。それはたいした吟味したものだだったそうです。

(中略)

ところがしんぞうの長男のまさきちは、安野の橋を請負い、すっかり損してしまいました。その時は30才前後だったと思われそうですが、その当時花巻で県工事が出来る人はそれしかいなかったのです。(中略)どうして損したかといいますと、その当時向うから来た官選知事でお上から指名されて来る南の九州あたりから来た人で岩手県知事になって来て、その子分と一緒に来ていて、その人が請負をしてその下請けをしたというわけです。

(中略)

かなり資力がなければできなかったわけです。しんぞうという人はいくらか産があってやりくりが利く、信用もあったものですが、材木などは後回しでもいい、私の母親の兄貴、しんぞうの長男まさきちが請負したのです。すっかり出来て検査も合格、検査を合格すればお金が下がるわけですが、直接受け取るわけにはいかない。検査合格して直ちにその人は盛岡の旅館に時々来て泊まって、出来たところはもちろん来ていたのですが、出来ていたために金を全部下げて、そのまま九州へ行ってしまったというのです。

(中略)

金をひとつも貰わないで親父の信用とか、まとめたのに一銭ももらえないでしまった。それでも親父は仕方がないと全部資産を売り払って、地元の人たちに迷惑をかけてはいけないというので屋敷だけ残してきれいに支払ってくれたそうです。そういうのが長男だったわけです。その弟で、きさぶろうは風流人、骨董屋で陶器や掛け軸を商いする人であったそうです。きさぶろうというのは私のおじさんになりますが、やぶやの初代佐々木けいぞうの父親であります。

(中略)

機械大工といったような私の親父が、主にももちろん大工でしたから木造が中心でありましたけれども、これからの機械は木ではだめだ、鉄でなければ機械にならないというので鉄を勉強した方がいいと言われましたので、私の兄貴、弟、協議いたしまして、早速旋盤1台買いました。6尺旋盤でしたが、中古品でさえも花巻にはどこにもありませんでした。もちろん新品ですが180円でした。

(中略)

昭和13年に父親が死んだというので直ちに帰って来ました。(中略)

葬式を済ませてまた3人でやりましょうと昭和15年に有限会社花巻鉄工所を作りました。今の建築の工場の所に経済連がありましてその隅に昭和15年に200坪の土地を買い、鋳物工場、機械工場全部を兼ねた120坪の建物を建てそこで始めました。

(中略)

現在の場所3,000坪を借りたいがとても借りられるものではないと言われましたが、前からお世話になっている相庄さんの旦那さんに頼みました。旦那さんとは昨年2月に亡くなった人のお父さんです。(中略)旦那さんと一緒に地主の宮善さん、梅とうさん、高橋豆腐屋さん、阿部さん、小原げんじさん、その他いろいろありますが1日で全部借りました。若い者が工場を建てるそうだがお宅の土地をお借りしたい、こいつは高常の息子だとの口添えがあり1日で全部借ることが出来ました。工場の配置は私が中心になって作り、昭和18年に1年で14棟作りました。

(中略)

18年に工場を建てましたが、その当時戦争がだんだん激しくなって食料も兵器と同じくらい大事だと国の政策で秋田県、岩手県と農機具を確保する工場を持たなければならぬという法令ができ、県では岩手県農業会に言いつけてうちの工場を買いたい、買うけれども運営は任せる、仕事は減らさないように絶対やる、資金も必要であれば出す、農業会で工場を持たなければならぬ、借りたのではだめだ、という話がありまして、売ることになりました。無料で使えるし、国策なので、国のために働かなければならぬ時代でした。

(中略)

作ったものは足踏み脱穀機、脱稿、今でいう引き、これもずいぶん作りました。その当時県内配給でしたから、大型トラック2台あって資材の配給、製品の搬出等をや

りました。

(中略)

その間、釜石製鉄所や日立製作所の協力工場になりました。釜石製鉄所からは艦砲射撃されることを予想していろいろな部品を頼まれる、空貨車のある時は製鉄所で作った平鉄、丸鉄、コークス、石炭をどんどん送って来て山盛りにしておりました。終戦と同時に全部もらうことになり、釜石より作っているのは平鉄と丸鉄だけで鉄板類は作っていませんでしたので、たいした恩恵はなかったけれども、物と交換して利用することができました。そうして終戦となって徴用で向うへ行ってきた人たちが帰って来て、腕ができていない人たちでも、人が欲しかったためにどんどん入れて、180人ばかりになりました。

終戦後に労働本部ができ、とても今ではなく、悪質な労働組合で、その人たちのスローガンは工場を潰すのが目的で、何でもかんでもよこせ、よこせ、作ったものはろくなものではないから金も入らない、働かなくても賃金は優先である。月末になればもちろん払うのですが、釜石からよこされた資材が山のようにあってほしい2,000トンありました。それを売って賃金を払うということを繰り返していたのですが、ただ居れば山をも食いつぶす、というようにたちまち無くなって、工場を抵当に入れ、機械を抵当に入れて、金を借りて払う。実に経営者としては全くで、その人たちに対応するだけで、どうしてこうしようかという頭も廻らず、仕事もしなければならぬ、押され通してたちまち破産ということになりました。それが昭和24年になります。

破産と同時に兄貴もこういうことは駄目だ、弟も銀行に借金が残っていかれなくなりましたが、私はやってやると思いました。なぜかという、そうでなければ食べていかれない、ということは弁当持って手間を取ることが、私にはできなかつたからです。

(後略)

◆11月の慶祝

会員誕生日祝：三田望君（26日）

夫人誕生日祝：佐藤美幸さん（7日）：誠吾君、

多田理絵さん（22日）：浩二君、

立花真紀子さん（24日）：徳久君、

阿部秀子さん（30日）：一郎君

結婚記念日：橋川秀治君・史子さん（2日）

吉田和洋君・優子さん（4日）

安藤武彦君・美保子さん（5日）

佐藤誠吾君・美幸さん（7日）

小山田泰彦君・智美さん（22日）

堀合康亮君・郁子さん（23日）

在籍表彰：立花徳久君（5年）



◆慶祝スピーチ

立花徳久 君 (夫人誕生日・在籍5年)
吉田和洋 君 (結婚記念日)



◆出席報告

31人中 10 人の出席

出席率 40.0%

前回修正 52.0%

メーキャップ

11/8(日)会長エレクト研修セミナー

吉田和洋君、鹿討康弘君

11/8(日)ガバナー補佐会議

上田 穰君

◆ニコニコボックス

☆佐々木 史昭 君

先週、弊社 中央コーポレーションの創立 50 周年記念祝賀会を開催させて頂きました。50 年記念誌を発刊して、みなさんにお配りするなど、50 年の節目を無事、祝うことが出来、ほっと致しました。

☆吉田 和洋 君

結婚祝いのケーキありがとうございました。

11/4 届きました。私、留守がちだったので、例年通り、妻と娘で終了しました。

☆立花 徳久 君

5年在籍表彰ありがとうございます。5 年があまり長く感じなかったのは、ロータリーの活動が苦に感じなかったからかな、と思っております。

☆飯塚 正晴 君

7月～出席してもお昼を頂いてるだけでしたが、初仕事しちやいました！！これからは諸先輩方の仕事を勉強しなければと思いました。今後ともご指導よろしくお願ひ致します。

☆橋川 秀治 君

11月2日の結婚記念日のお祝いありがとうございます。祈念旅行に出かけていたので11月4日にホテル花城様よりケーキを受け取り、家内は驚いていましたが、とても喜んでくれました。お心遣いに感謝申し上げます。

◆第 2973 回例会のメニュー



<鯛のオープン焼き/和風ソース>

◆トピックス *topics*



堂々と初仕事をこなす、飯塚親睦委員！

◆次回のプログラム

11月24日(火) 会員卓話

■ 小山田泰彦君

◆今後のプログラム案内

12月1日(火) 慶祝該当者スピーチ<例会前理事会>

12月8日(火) クラブ総会「次年度役員選出」

12月15日(火) 会員卓話 ■ 戸来昭浩君

12月22日(火)クリスマス例会『ホテルグランシェール花巻』

12月29日(火) 年間スケジュールにより休会

◆クラブ会報委員：鹿討康弘/多田浩二/佐藤誠吾/鳥畑昭裕/橋川秀治/小山田泰彦/飯塚正晴

◆事務局 〒025-0075 花巻市花城町 10-27 花巻商工会議所内 花巻ロータリークラブ TEL /FAX : 0198-41-1133

Mail : hrc@hanamaki-cci.or.jp URL <http://www.hanamaki-rc.com> 記事担当/橋川